

環境法政策学会 第26回学術大会 分科会（オンライン開催）プログラム

2022年4月27日

開催日時 2022年6月11日（土）14時00分開始 16時30分終了（予定）

第1分科会 個別報告 [司会者：渡邊知行（成蹊大学）] 回線①を利用

- I 『暮らしやすさ』(Suitability) のプレ指標の開発と中核市の比較分析
(報告者：天野健作・立花 晃 (大和大学) / コメントーター：川久保俊 (法政大学))
- II スペースデブリの発生防止に関する宇宙条約第9条の規律 —従来の学説の再検討
(松田芳和 (名古屋大学大学院) / 堀口健夫 (上智大学))
- III 気候変動影響に対する公正な変革的適応の在り方：京都の稲作を事例として
(一原雅子 (総合地球環境学研究所) / 奥田進一 (拓殖大学))
- IV 予防原則とナッジの相関性検討に関する一考察 —先端科学技術のリスク政策を事例に—
(中山敬太 (早稲田大学) / 下山憲治 (一橋大学))
- V 中国における環境そのものの損害とその賠償について
(山田浩成 (一橋大学大学院) / 櫻井次郎 (龍谷大学))

第2分科会 企画セッション「世界環境憲章草案と環境法の基本原則」 [代表者：大塚直（早稲田大学）]

- I 14時00分から14時20分まで 回線②を利用
「環境法の基本原則—全体像と汚染者負担原則」(大塚直 (早稲田大学))
- II 14時20分から15時40分まで 企画セッション① 回線②を利用
「世界環境憲章と国際法における環境権の展開」(高村ゆかり (東京大学))
「環境に関する権利の拡大と参加原則」(大久保規子 (大阪大学))
「環境権の実体面と手続面」(松本和彦 (大阪大学))
「国際法上の未然防止義務 (仮)」(児矢野マリ (北海道大学))
- II 14時20分から16時00分まで 企画セッション②
回線②のブレイク・アウト・セッションを利用
「EUにおける予防原則—植物保護製品規制を事例として (仮)」
(増沢陽子 (名古屋大学))
「アメリカにおける予防原則 (仮)」(赤渕芳宏 (名古屋大学))
「ドイツ事前配慮原則」(桑原勇進 (上智大学))
「ドイツ・アメリカにおける汚染者負担原則」(石巻実穂 (早稲田大学))
「共通だが差異のある責任」(鶴田順 (明治学院大学))
- III 16時00分から16時30分まで パネル・ディスカッション 回線②を利用